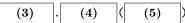
IE5 番 氏名 模範解答

(1/4)

1. 次の文の空欄に適切な語句を語群より記号で選びなさい。 $(3 \, \text{点} \times 5 \, \text{間} = 15 \, \text{点})$

オブジェクト指向プログラミングとは、相互に (1) を送り合う (2) の集まりとしてプログラムを構成する技法である。オブジェクト指向プログラミング言語の一種である Java 言語では、 (1) の送信を次のように記述する。



語群:(あ) クラス、(い) メソッド、(う) 変数、(え) インスタンス、(お) 引数、(か) メッセージ、(き) フィールド、(く) メンバー、(け) オブジェクト

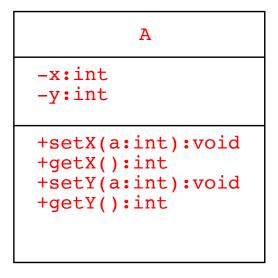
```
(1) け (3) え (4) い (5) お
```

2. 次の三つの Java プログラムをよく読んで解答しなさい。

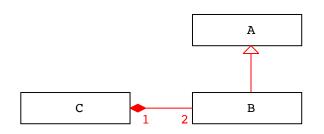
```
// A.java
public class A {
   private int x;
   private int y;
   public void setX(int a) { x = a; }
   public int getX() { return x; }
   public void setY(int a) { y = a; }
   public int getY() { return y; }
}
```

```
// B.java
public class B extends A {
   private int z;
   B(int a, int b, int c) {
      setX(a);
      setY(b);
      z = c;
   }
   public void setZ(int a) { z = a; }
   public int getZ() { return z; }
}
```

(1) A のクラス図を完成しなさい。(5 点)



(2) 次のクラス図に関連を追記しなさい。(5点)



IE5 _____ 番 氏名 ____<mark>模範解答</mark>

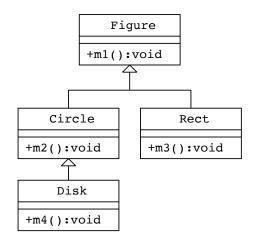
(2/4)

(3) クラス C は 3 次元空間上の半直線を表現しています。 クラス C に追加する、 直線を x 軸方向に移動するメソッド を書きなさい。(5 点)

(追加メソッド:「public void moveX(int dx);」直線を dx だけ x 軸方向に移動する。)

```
void moveX(int dx) {
  p1.setX(p1.getX()+dx);
  p2.setX(p2.getX()+dx);
}
```

3. 次のクラス図とプログラムをよく見て間に答えなさい。



```
Figure f;
Circle c;
Rect r;
Disk d;
Figure x;
Circle y;
```

(1) 変数 x に型変換しないで代入できる全ての変数を列挙しなさい。(但し、x、y は除きます。)(5 点)

f, c, r, d

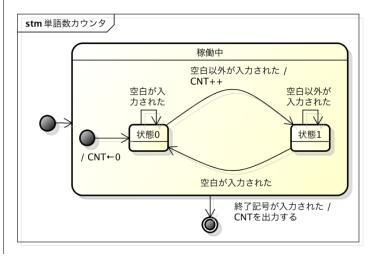
(2) 変数 y に型変換しないで代入できる全ての変数を列挙しなさい。(但し、x、y は除きます。)(5 点)

c, d

(3) 次のプログラムでエラーになるものに「 \times 」、エラーにならないものに「 \bigcirc 」をつけなさい。(2 点 \times 12 間=24 点)

番号	プログラム	_/×
(a)	f.m1();	\bigcirc
(b)	f.m2();	×
(c)	f.m3();	×
(d)	f.m4();	×
(e)	c.m1();	0
(f)	c.m2();	0
(g)	c.m3();	×
(h)	c.m4();	×
(i)	d.m1();	0
(j)	d.m2();	0
(k)	d.m3();	×
(1)	d.m4();	0

4. 次の図は入力された文字列に含まれる単語数をカウントするステートマシンを表しています。入力は1文字ずつステートマシンへ入力され、それをトリガーにステートが変化します。入力文字列に含まれる文字は空白('')、英字('A'~'Z')、終了記号('#')のみとします。単語とは空白で区切られた英字列です。図をよく見て以下の間に答えなさい。



IE5 _____ 番 氏名 ____ 模範解答

(3/4)

(1) 上記のステートマシンを Fsm クラスとして実装します。下のプログラムを完成しなさい。(20 点) public class Fsm { private int state = 0; // ステートマシンの状態 private int cnt = 0; // 単語数のカウンタ public void input(char ch) { // ステートマシンへ文字を入力 if (ch=='#') { System.out.println(cnt); // -1 は終了状態のつもり state = -1; } else { switch (state) { case 0: if (ch!=' ') { cnt++; state = 1;} break; case 1: if (ch==' ') { state = 0;} break; } }

}

オブジェクト指向プログラミング H25 年度 後期中間試験 (2013.11.27 重村 哲至)

IE5 番 氏名 模範解答

(4/4)

5. 次のプログラムをよく見て問に答えなさい。(16点)

以下は、授業で作成した電卓プログラムの Eclipse が生成した、initialize メソッド内部の一部です。ボタン「1」を 生成したあと、アクションリスナーを登録しています。なお、keisan は Keisan クラスのインスタンスであり、電卓の計算 機能 (モデル) を実装しています。

```
JButton btn1 = new JButton("1");
btn1.addActionListener(new ActionListener() {
    public void actionPerformed(ActionEvent e) {
        keisan.keyIn('1');
    }
});
panel.add(btn1);
```

同様の記述が16個のキーについて繰返され無駄が多いように見えます。そこで、次のように使用できるDentakuButtonクラスを作ります。下に、DentakuButtonクラスを完成しなさい。なお、import で始まる行は省略して良い。

```
DentakuButton btn1 = new DentakuButton('1', keisan);
panel.add(btn1);
```

public class DentakuButton extends JButton {

```
private char moji;
private Keisan keisan;

public DentakuButton(char c, Keisan k) {
    super(c+"");
    moji = c;
    keisan = k;

    this.addActionListener(new ActionListener() {
        public void actionPerformed(ActionEvent e) {
            keisan.keyIn(moji);
        }
    });
}
```